

CSR(企業の社会的責任)の取組み

ソニー損保は、1999年秋の営業開始時から社会の一員としてCSR(企業の社会的責任)を自覚し、企業の成長とともに一層その自覚を強めてきました。当社の事業活動は、多くのステークホルダーの皆様のご支持によって成り立っているからこそ、CSRに真剣に取り組む、ステークホルダーの皆様に提供する価値を高めていくことが使命であると考えています。

損害保険事業の適切な遂行(商品・サービスの提供)

損害保険制度は、暮らしや企業の活動において「小さな負担(多数の人々が保険料という形でお金を出し合う)で、いざという時の大きな安心(出し合ったお金から補償を受ける)を得ることができる」という、相互扶助の精神に基づいたしくみです。

このしくみが適切に運用されること、つまり損害保険事業を適切に遂行することが、私たち損害保険会社の社会的責任の根幹です。そのためには、お客様のニーズにお応えできる、お客様に信頼・安心していただける商品やサービスを提供していくとともに、お客様の声を傾聴し商品・サービスに反映させていくことが最も大切であると考えています。

※ 「お客様の声」に対する取組みについては、6～9ページをご参照ください。

※ 商品・サービスについては、30～41ページをご参照ください。

保険商品を通じた社会貢献活動

ガン重点医療保険SURE〈シュア〉では、すべての契約に追加保険料をいただくことなく骨髄ドナーサポート特約を自動で組み込み、保障を受けられる方が骨髄提供者(ドナー)として骨髄幹細胞採取手術を受けられた場合に、所定の保険金をお支払いします。

また、ウェブサイトや商品パンフレットにおいても、骨髄ドナーについて説明するページを設け、骨髄移植に関する認知向上を目指しています。



ウェブサイト骨髄ドナー説明ページ抜粋

環境保全活動

地球環境保護がすべての企業にとって重要な責務であるとの認識に立ち、環境方針を定めて全社で環境保全活動に取り組んでいます。

また、当社では、保険という目に見えない商品を扱ううえで、契約関連書類や手続書類の郵送などのために紙や電気といった資源を消費している事実に加え、主力商品である自動車保険が二酸化炭素(CO₂)を排出する自動車の利用を前提としていることなどから、事業活動に関連のある環境負担軽減を目指した取組みも進めています。

ソニー損保の環境方針

【理 念】

当社は持続可能な社会の実現に向けた「ソニーグループ環境ビジョン」を踏まえ、企業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動します。

【方 針】

1. 環境マネジメントシステムの運用により、事業活動およびサービスを通じて環境に与える影響を的確に捉え、環境負荷の低減を図るとともに事業の継続的な改善に努めます。
2. 環境目的・目標を設定し全社で環境管理を推進するとともに、継続的な見直しを行います。
3. 事業活動を行う上で適用を受ける環境関連の法律、条例を遵守します。
4. この方針を達成するため、内部環境監査を実施し、環境マネジメントシステムの維持向上を図ります。
5. 社内における環境教育・社内外広報活動を実施し、環境方針の周知徹底、環境保全に関する意識向上を図ります。

ソニー損保が取組む環境保全活動

■ 環境マネジメントシステム

ソニー損保を含むソニーグループでは、全世界共通の環境マネジメントシステム (Global Environmental Management System) にて環境活動を行っており、国際規格であるISO14001のグローバル統合認証を取得しています。ソニー損保では、本社事業所をISO14001の認証対象としており、電力使用量およびコピー用紙使用量の低減目標値を定めた省エネ・省資源活動や、事務用品におけるエコ商品比率を高めるグリーン購入の推進を行っています。



ビューローベリタスジャパン株式会社より、環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO14001の認証を、本社事業所において取得しています。

■ J-クレジット制度の活用

CO₂排出削減策の一環として、2007年度から2013年度にかけてグリーン電力(*1)を購入し、2014年度からは、グリーン電力に代わりJ-クレジット制度(*2)を活用しています。2007年度から2015年度の9年間にわたるグリーン電力証書システムおよびJ-クレジット制度の活用により、総計約476トンのCO₂排出削減に寄与したことになります。

- (*1) 風力やバイオマス(生物資源)、太陽光などの地球温暖化防止、CO₂の排出削減に有効な自然エネルギーにより発電された電気の環境付加価値を「グリーン電力証書」というかたちで購入するものです。
- (*2) J-クレジット制度はCO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度で、当社は森林吸収プロジェクトのクレジットを購入しています。

お客様とともに取組む環境保全活動

■ 「幼稚園にソーラー発電所を☆プログラム」(NPO法人そらべあ基金への寄付活動)

自動車保険の「くりこし割引」のしくみを活用したプログラムで、ご契約者が予想より走らなかった距離の総合計100kmにつき1円を、太陽光発電設備(ソーラーパネル等)の設置費用として「NPO法人そらべあ基金(そらべあ基金)」(*3)に寄付しています。そらべあ基金では、ソニー損保からの寄付金を、全国の幼稚園や保育園を対象にした太陽光発電設備の設置などに充当していきます。ソニー損保のご契約者は、クルマの使い方をほんの少し見直すことで実際の走行距離が契約距離区分の上限を下回れば、「くりこし割引」で翌年の保険料が抑えられるだけでなく、CO₂排出量も減り、太陽光発電設備の設置にも貢献することができます。同プログラムにより、2015年度には3基の太陽光発電設備を幼稚園・保育園に設置しました。寄贈先の幼稚園・保育園での寄贈記念式典の様子などは、エコロジーサイト(<http://ecology.sonysonpo.co.jp/>)で紹介しています。

そらべあ発電所寄贈記念式典



2015年10月27日 仔羊幼稚園(愛知県豊橋市)にて



2016年3月16日 ひよこ保育園(兵庫県西脇市)にて

(*3) 「NPO法人そらべあ基金」は、ホッキョクグマの兄弟「そらべあ」をシンボルに、再生可能エネルギーの普及活動や環境教育を行うNPO法人です。詳しくは「そらべあ基金」のウェブサイト(<http://www.solarbear.jp/>)をご参照ください。ソニー損保は、「そらべあ基金」が推進する「そらべあスマイルプロジェクト」のサポーターとして「幼稚園にソーラー発電所を☆プログラム」を実施しています。

☞ 「くりこし割引」については、33ページをご参照ください。

■ 各種契約手続のペーパーレス化

紙資源の節約、郵送にかかるCO₂排出量の削減を目的として、各種契約手続のペーパーレス化を推進しています。自動車保険においては、インターネットによる契約申込を可能とするほか、証券ペーパーレス割引を導入することで、紙の使用量の削減・郵送の省略を実現しています。今後も、さらなるペーパーレス化に取り組めます。

☞ 「証券ペーパーレス割引」については、33ページをご参照ください。

当社独自の取組みのほか、一般社団法人日本損害保険協会の一員として、事故・災害および犯罪の防止・軽減にむけて、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。同協会での取組みについては、同協会のウェブサイトをご覧ください。

■ 環境問題への取組み <http://www.sonpo.or.jp/about/action/eco/>

■ 防災・自然災害対策、交通安全対策、犯罪防止対策 <http://www.sonpo.or.jp/protection/bousai/>